

ベビーカーには 寿命があります！

寿命を過ぎたベビーカーを使用し続けると、
思わぬ事故が発生する場合があります。

寿命は、使用状況や保管状態により異なりますが、新規ご購入時から使用対象月齢期間までが目安です。
使用対象月齢期間を超えてのご使用は、材料の経年劣化により、徐々に強度の低下や各部のガタツキが大きくなることで、
本来の性能を果たせず危険を招くおそれがあります。

特に、2人目のお子さま、他人への譲渡等によるご使用は寿命を超える場合がありますのでご注意ください。
また、使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。

安全で安心にお使いいただくため、
寿命内でも日頃からのご注意と点検をお願いします。

安全のため、日常の自主点検をお忘れなく

✓check 1

締結部にゆるみが生じていないか

✓check 2

開閉ロックの動きが悪くないか

✓check 3

本体や部品に変形・割れ・ヒビが生じていないか



ご使用上の注意

- ・ご使用前に必ず「取扱説明書」を読んで正しく、安全に使用してください。
- ・仕様対象年齢期間でも、長距離走行や走行路面、保管状態によっては、寿命が短くなります。
- ・直射日光をさけ、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に保管してください。
- ・部品の亀裂や全体のガタツキが大きくなった等の異常を感じられた場合は、下記までご連絡ください。

販売元
株式会社 西松屋チェーン
〒671-0218 兵庫県姫路市飾東町庄266-1

【お客様相談窓口】
フリーダイヤル 0120-7-24028
受付時間 10:00～18:00
(土・日・祝日・弊社所定休日を除く)

ベビーカーを正しく使っておでかけしましょう！

この度は、西松屋チェーンの製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ベビーカーは赤ちゃんと楽しく快適におでかけするためにとっても便利な製品です。

しかし、使い方によっては、「予期せぬお子さまのけがやベビーカーの破損」につながることもあります。

使用前に必ず「取扱説明書」を読んで正しく、安全に使用してください。

1 すべてのシートベルトを必ず締めて使用してください。

肩・腰バックルを股バックルに「カチッ」と音がするまで挿入した後、ベルトを強く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してください。



2 お子さまをベビーカーの中で立たせないでください。

お子さまは月齢が高くなるにつれ周囲への好奇心が旺盛になります。力も強くなり自分でシートベルトを外す恐れがありますので、常にお子さまの状態を確認してください。



3 2人乗りは禁止です。

ベビーカーに同時に2人以上のお子さまを乗せたり、お子さまをシート以外の所に乗せないでください。



4 お子さまを乗せたまま、ベビーカーを持ち上げないでください。

手がすべったり、フロントガードが外れたりバランスを崩し、転倒する恐れがあります。



5 お子さまを乗せているとき、カゴ以外のところに荷物をのせたり、つるしたりしないでください。

特にハンドルにつるすと不安定になり、ベビーカーが転倒する恐れがあります。



6 エスカレーターでの使用は禁止です。

階段や大きな段差のあるところ、また砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路でも転倒の恐れがあるため、使用しないでください。



7 ベビーカーの開閉の際には、そばにお子さまがいないことを確認してください。

可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかる恐れがあります。



8 ベビーカー本体には、お子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。

破損・故障や思わぬ事故につながる恐れがあります。



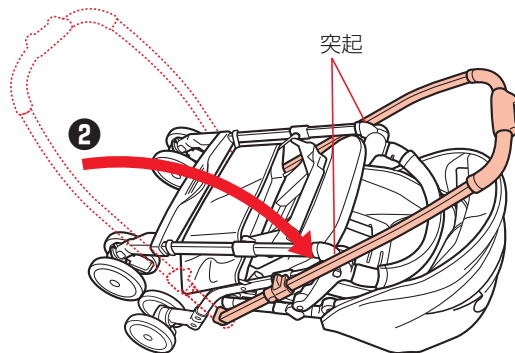
ベビーカーのハンドルが車体の前に来てしまったときは

動画にてハンドルの戻し方を公開しています。
スマートフォンでQRコードを読み取り、動画説明サイトへ
アクセスしてください。

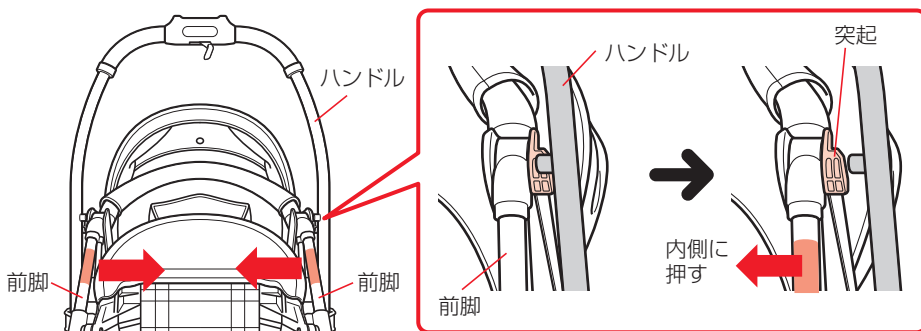


動画を確認できない場合は、下記の手順でハンドルを正しい位置に戻してください。

- 1 ① ベビーカーを背面が下になるように寝かす。
② ハンドルを突起の前まで起こす。



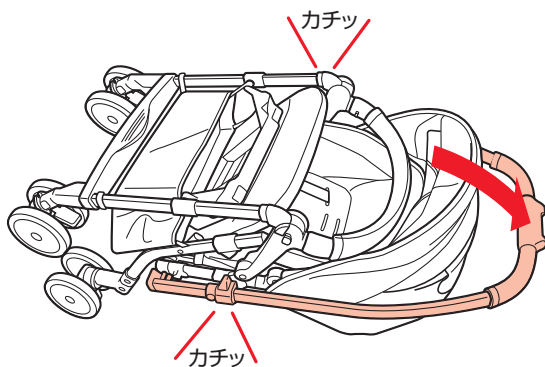
- 2 前脚の付け根部分を左右同時に内側へ押し込み、突起を越えさせる。



注意

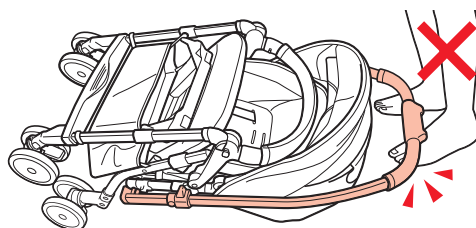
ゆっくりと内側に押し
てください。
ケガをしたり、ベビー
カーが破損するおそ
れがあります。

- 3 突起を越えたら、左右とも「カチッ」とロックするまでハンド
ルを下げる。



注意

幌側から操作しないでください。足の上にハンドル
が落下し、ケガをするおそれがあります。





ベビーカー

デ・ヨーネ ドッチモオート

取扱説明書/保証書

このたびはお買い上げいただき、
ありがとうございます。

- ご使用前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書は、いつでもご覧になれる場所に大切に保管してください。
- 本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。製品の機能が発揮できないだけでなく大変危険です。

もくじ

はじめに

ご使用前に	1
安全にご使用いただくために	2
各部のなまえ	7

ベビーカーの使いかた

ベビーカーの開きかた	8
対面・背面の使いかた	9
ハンドルの切り替えかた	10
キャストロックレバーの使いかた	11
車輪ストッパーの使いかた	12
フロントガードの使いかた	13
幌の使いかた	14
シートベルト(股ベルト・腰ベルト・肩ベルト)の使いかた ...	16
背もたれの使いかた	18
カゴの使いかた	20
折りたたみかた	21

部品の取り付けかた・はずしかた

幌	23
ガードカバー	23
シートベルト(腰ベルト・肩ベルト)	24
着脱シート	26
インナークッション	30
ヘッドサポート	31

その他

日常のお手入れ	32
保管のしかた	33
廃棄方法について	33
ベビーカーの「標準使用期間」について	33
品質保証書	裏表紙

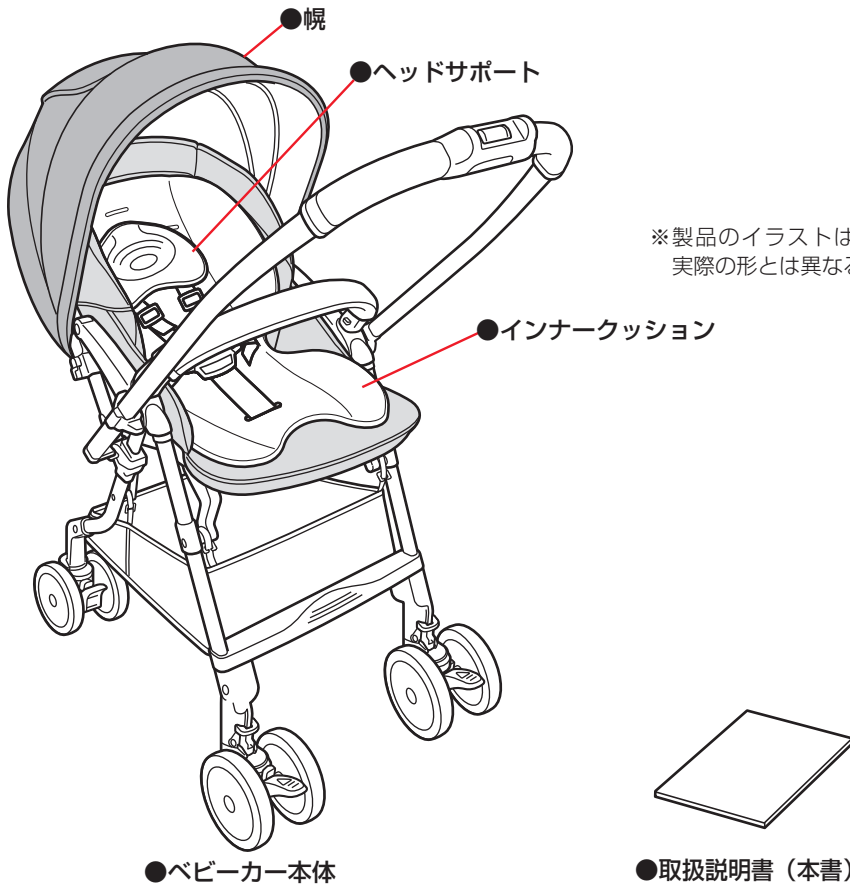
ご使用前に

- この製品は、一般家庭でお子さまを乗せ、外気浴、買い物などに使用するための1人乗り乳母車（ベビーカー）です。
- 望ましい連続使用時間：2時間以内（ただし、7ヵ月以上を対象にした座位使用時は1時間以内）
- 使用の範囲：生後1ヵ月*以上36ヵ月ころまでで、体重15kg以下のお子さま（お子さまの発育により個人差があります）
※生後1ヶ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ胎週数37週以上を満し、1ヶ月经過したお子さまを示します。

開封されましたら各部品がそろっているかご確認ください。

箱の中には次のものが入っています。箱を開けたらすべてそろっていることを確認してください。

- ベビーカー本体
- 幌
- ヘッドサポート
- インナークッション
- 取扱説明書（本書）





※製品のイラストは一般的な形であり、実際の形とは異なる場合があります。



- ご使用前に、裏表紙「品質保証書」に次の項目を記入してください。
 - ① ロット No.（後脚後側から見て右のパイプに貼ってあるシールに記載されています。）
 - ② お客様のお名前・ご住所・電話番号
 - ③ 販売店名
- 領収書（レシート）、または保証書シール、または保証書レシートを本書といっしょに保管してください。


安全にご使用いただくために

- 製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよびご使用者のかたが重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。
- ここに表示した注意事項は、取り扱いを誤ると、お子さまおよびご使用者への危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」・「注意」の2つに区分して示してあります。安全のため必ずお守りください。

表示	表示の内容
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の可能性がります。

- お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

	警告 / 注意をうながす内容があることを告げるものです。
	禁止行為であることを告げるものです。

 フロント	補足説明
--	------

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

お子さまが落ちるおそれがあります。

- お子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せたり、シートベルトの締めかたが不完全な場合、使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。
- お子さまは月齢が高くなるにつれ、周囲への好奇心が旺盛になります。力も強くなり自分でシートベルトをはずすおそれがありますので、常にお子さまの状態を確認してください。
- すべてのシートベルトを必ず締めて使用してください。オスバックルをメスバックルに取り付け後、ベルトを強く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してください。
- 肩ベルトは、お子さまの体形にあわせて調整してください。長すぎると首に巻きつく危険があります。



- お子さまをベビーカーの中で立たせないでください。



安全にご使用いただくために



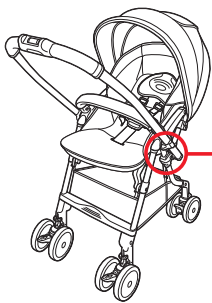
誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

お子さまが落ちたりベビーカーが折りたたまれるおそれがあります。

- お子さまを乗せたまま、ベビーカーを持ち上げないでください。



- 左右の開閉ロックが確実にかかっていること（ベビーカーが完全に開いた状態であるか）を確認してから使用してください。



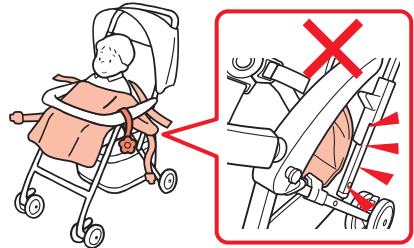
● ロックされている

開閉ロック
開閉ロックが下がって
すき間がない。

● ロックされていない

すき間
開閉ロックが上がって
すき間がある。

- ベビーカーの開閉時やハンドル切り替え時に、ベビーカーの着脱シートやシートベルト、ブランケット、おもちゃなどをベビーカー本体にはさみ込まないよう十分注意してください。
開閉ロックがかからず折りたたまれたりするおそれがあります。



- 階段、エスカレーター、大きな段差のあるところ、砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。
- 破損や異常が発生した場合は使用を中止し、当社までご連絡ください。



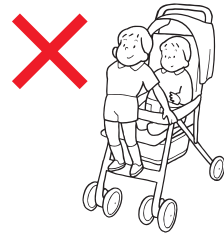
警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。

●カゴ以外のところに荷物をのせたり、ハンドルに荷物をつるさないでください。ベビーカーが不安定になり転倒してお子さまが落下するおそれがあります。また、ハンドルに寄りかかったり、ハンドルを無理に押し下げるなど、過度の荷重はかけないでください。破損・故障の原因となります。



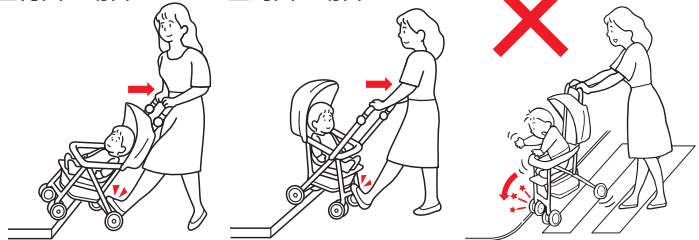
●ベビーカーに同時に2人以上のお子さまを乗せたり、お子さまを着脱シート以外のところに乗せないでください。



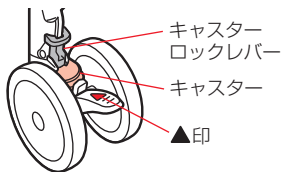
●無理な段差乗り越えは、前輪に衝撃が加わり、ベビーカーが転倒するおそれがあります。また、破損・故障の原因となります。縁石などの段差を乗り越える場合は、わずかな段差でも速度を落とし、ステップや後脚ステーに足をかけてハンドルを手前に引き、必ず前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。

■背面の場合

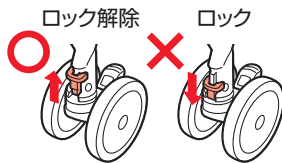
■対面の場合



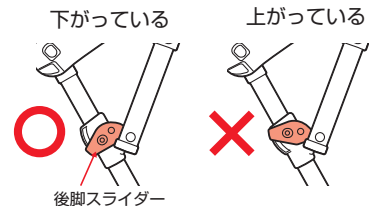
●使用する前やハンドル切り替え後、押す人側の車輪ストップの▲印がキャスターロックレバーと向きあい、キャスターが確実に自動ロックされていることを確認してください。



●ハンドルを切り替えるときは、必ず4カ所ともキャスターのロックを解除してください。



●ハンドルを背面に切り替えた後は、左右の後脚スライダーが下がっていることを確認してください。



●坂道ではハンドル切り替え操作を行わないでください。

●ハンドル切り替え中にベビーカーを動かさないでください。

●お子さまが乗り降りする際は、ベビーカーが不安定になり転倒するおそれがありますので、しっかりと支えてください。

●背面状態では、後脚スライダーに触れないでください。指をはさむおそれがあります。

●線路や排水口などの路面の溝に車輪を取られたり、はさまないように、溝の部分は車輪を浮かせて進んでください。

●ホームと電車との段差やすき間に車輪がはさまったり、引っかかったりしてベビーカーが転倒するおそれがあります。十分注意して乗降してください。

●ベビーカーに大人が腰かけたり、過度の荷重をかけると破損、故障の原因となります。

●お子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。ベビーカーの操作に悪影響を与え転倒するおそれがあります。また、過度の荷重がかかりベビーカーが破損します。

安全にご使用いただくために



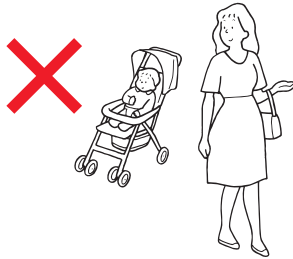
誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。

- 車輪ストッパーを過信しないでください。車輪ストッパーをかけていても、動き出したり転倒するおそれがあります。



- お子さまを乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。



- ベビーカーは空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。



お子さまがケガをするおそれがあります。

- ベビーカーの開閉やリクライニング操作時は、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- 幌を開閉するときは、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- ハンドルを切り替えるときは、お子さまがアームレストに手をかけていないことを確認してから行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- 着脱シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足などをはさむおそれがあります。
- お子さまの足が車輪や地面につく場合は使用しないでください。足をケガするおそれがあります。

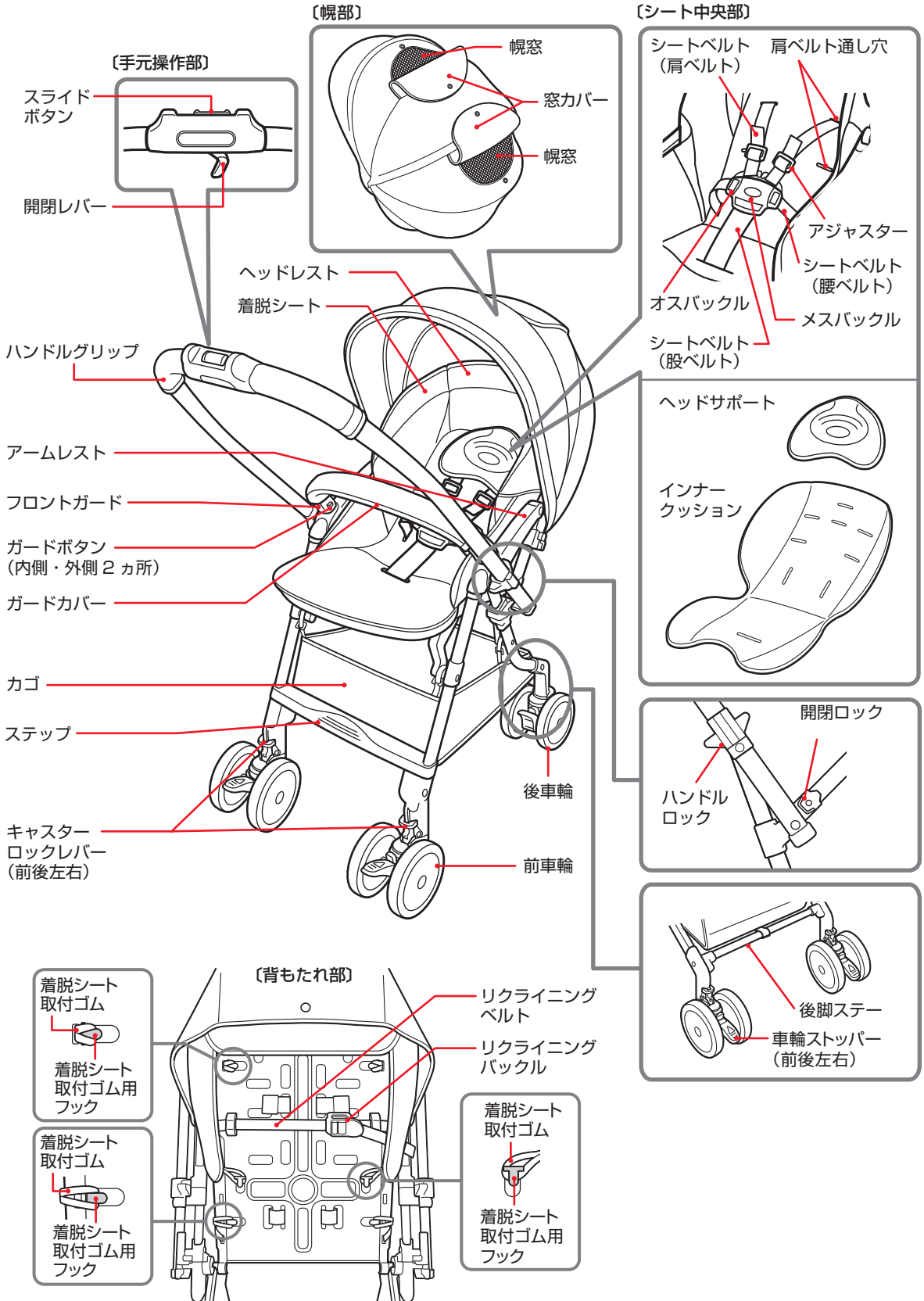
⚠️ 注意 誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の可能性あります。

- お子さまを乗せる以外の目的で使用しないでください。目的外の使用では破損などのおそれがあります。
- お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながります。
- フロントガードを引っぱって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損のおそれがあります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。また必要以上に広げたりしないでください。
- おすわりができないお子さまの場合は、背もたれを倒した状態でご使用ください。(18 ページ参照)
- 背もたれを最も倒した状態でもお子さまが窮屈な場合は、背もたれを中間位置まで起こしてご使用ください。ただし、この方法は寄りかかってお座りができるお子さまに限ります。
- お子さまの頭がヘッドレストに当たる場合は、頭があたらない位置まで背もたれを起こして使用してください。
- ベビーカーを押すときは走らないでください。走るとキャスターの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。
- ハンドルを切り替えるときは、4カ所ともキャスターのロックを解除してください。ロックしたままですと押しづらだけでなく、ベビーカーが破損するおそれがあります。
- 出荷時に取り付けられている部品、および当社指定の部品以外は使用しないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。ベビーカーだけでなく使用者も転倒するおそれがあります。
- 風の強いときは使用しないでください。勝手に動き出したり、転倒するおそれがあります。
- 雷のときは使用しないでください。落雷のおそれがあります。
- 夏季の晴天日中などは、路面の影響によりベビーカー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。
- ベビーカーを横向きに寝かせたり、上に荷物を重ねた状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。
- ベビーカーを立てた状態で保管する場合は、キャスターを内向きにロックし、必ず車輪ストッパーをかけてください。ベビーカーが倒れやすくなります。
- ご使用前に、締結部品などにゆるみがないか確認してください。ゆるみがある場合は使用せず、必ず当社にご連絡ください。重大な事故につながるおそれがあります。
- 長時間の使用禁止
長時間連続してのご使用は、お子さまの負担となります。寝かせた姿勢では2時間以内、座らせた姿勢では1時間以内で休憩をとるなどしてください。
- バスの中では使用しないでください。本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 本製品は、電車などの移動交通機関の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車などの中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ず車輪ストッパーをかけて、十分注意してご使用ください。
- 坂道の走行では、不安定なため転倒するおそれがあります。速度を落とし、十分注意して走行してください。
- 車体の清掃は水ぶき以外はしないでください。部品の変質、破損のおそれがあります。
- 肩ベルトの色が摩擦によりお子さまの薄い色（白、ベージュなど）の衣服に、色移りすることがありますのでご注意ください。
- カゴには5kg以上の荷物を入れないでください。破損の原因となります。
- 火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管は避けてください。また荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

各部のなまえ

取りはずしてある部品は本文をよく読んで正しく取り付けてください。

はじめに

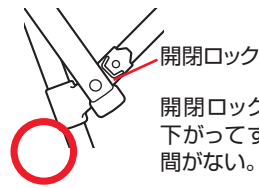


ベビーカーの開きかた



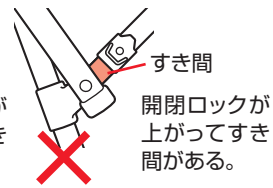
- 使用する前に、開閉ロックがかかっていることを必ず確認してください。急に折りたたまれるおそれがあります。(右図参照)
- スライドボタンを必ずロックして使用してください。無意識に開閉レバーを握ったときなど、急に折りたたまれるおそれがあります。
- ベビーカーを開くときは他の人やお子さまに触らせないでください。

●ロックされている



開閉ロックが下がってすき間がない。

●ロックされていない



開閉ロックが上がってすき間がある。

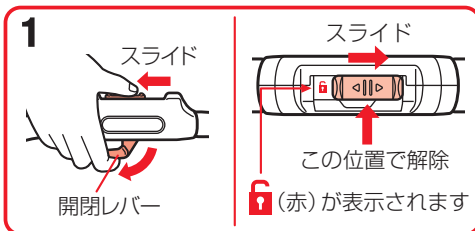


- お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ベビーカーを持ち上げた状態で、開閉レバーを握りロックを解除すると、破損のおそれがあります。
- スライドボタンをスライドさせずに開閉レバーを握らないでください。無理に握ると破損するおそれがあります。

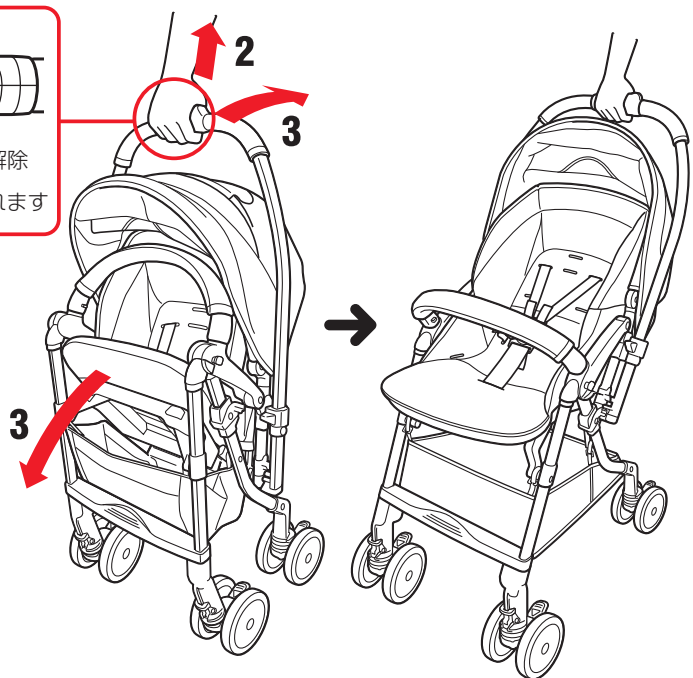
本ベビーカーは、折りたたむことができます。

1. スライドボタンを矢印方向にスライドさせながら開閉レバーを握り、
2. ハンドルを持ち上げ、
3. そのままハンドルを手前側へ引きながら、ベビーカーを開く。

ベビーカーが完全に開きます。

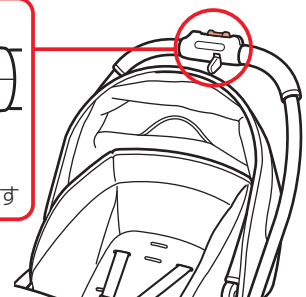
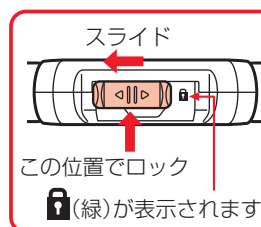


- ベビーカーを地面につけた状態から開閉レバーを握り操作してください。ベビーカーを持ち上げた状態ではベビーカーを開くことができません。
- 「カチッ」とロックする音を確認してください。また、ベビーカーのハンドルを少し持ち上げ上下に軽くゆするなどして確実にロックされていることを確認してください。



- 2 スライドボタンから手を離し、折りたたみをロックする。

開閉レバーが自動でロックされます。ロックされていることを必ず確認してください。



対面・背面の使いかた

- 方向転換がスムーズに行えるよう車輪の向きが変わる機構をキャスターといいます。
- この製品は対面、背面どちらの状態でもハンドルを切り替えることにより自動的に押す人側のキャスターがロックされ、進行方向前方のキャスターが動くようになっています。

• ハンドルを切り替えるときは、お子さまがアームレストに手をかけていないことを確認してから行ってください。指や手をはさむおそれがあります。

• ハンドルを切り替えるときは、必ず4カ所ともキャスターのロックレバーを上にあげて解除してください。押す人側のキャスターが自動ロックされず、ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。(図A参照)

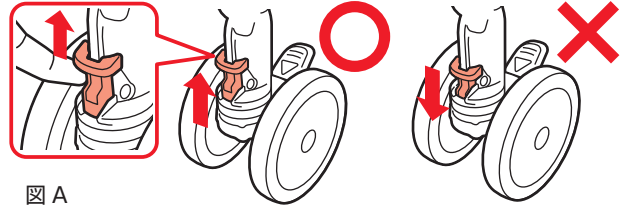


図 A

• ハンドル切り替え後、進行方向に少し前進させ、押す人側の車輪ストッパーの▲印がキャスターロックレバーと向きあっていることを確認する。ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。(図B参照)

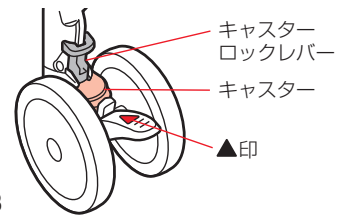


図 B

• ハンドルを背面に切り替えた後は、左右の後脚スライダーが下がっていることを確認してください。キャスターのロックがはずれ、ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。(図C参照)

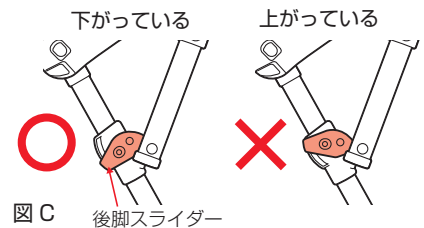


図 C

- 坂道ではハンドル切り替え操作を行わないでください。思わぬ方向に動き出し、ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。
- ハンドル切り替え中にベビーカーを動かさないでください。4輪ともキャスターがロックされず、思わぬ方向に動き出し、ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。
- 背面状態では、後脚スライダーに触れないでください。キャスターのロックがはずれ、ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。
- 異常が発生した場合は、ただちに使用を中止して当社までご連絡ください。

- ハンドルを切り替えるときは、お子さまの正面側からお子さまの様子を確認しながら、操作してください。
- 危険ですからベビーカーを押しながら操作しないでください。
- 車体を開閉するときは、ハンドルロックは操作しないでください。ベビーカーが故障するおそれがあります。
- ハンドルを切り替えるときは、必ず4カ所ともキャスターのロックを解除してください。ロックしたままハンドルを切り替えると押しづらだけでなく、ベビーカーが破損するおそれがあります。

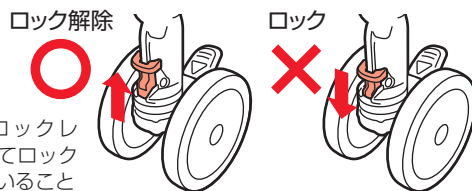
警告

注意

ベビーカーの使いかた

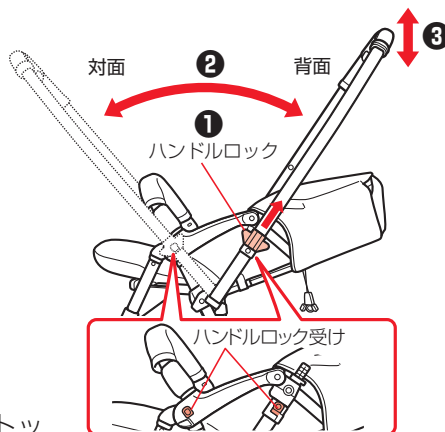
ハンドルの切り替えかた

1. 4カ所のキャスターロックレバーがすべて解除されていることを確認する。



キャスターロックレバーが上がってロックが解除されていること

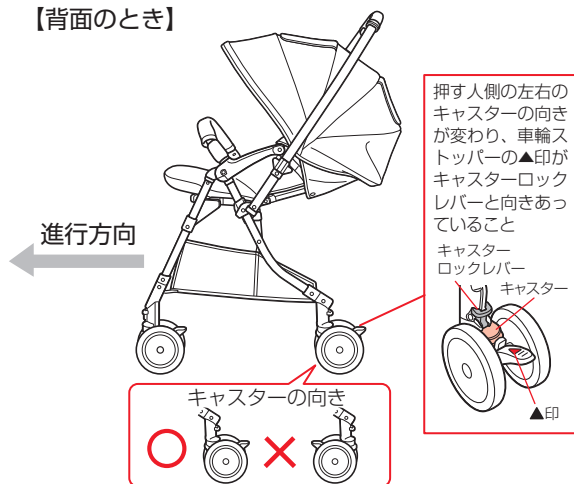
2. ①左右のハンドルロックを上引き上げ、ロックを解除する。
 ②ハンドルの向きを変えた側のハンドルロック受けにしっかりとロックする。
 ③ハンドルを上下左右に動かし、ロックされたことを確認する。



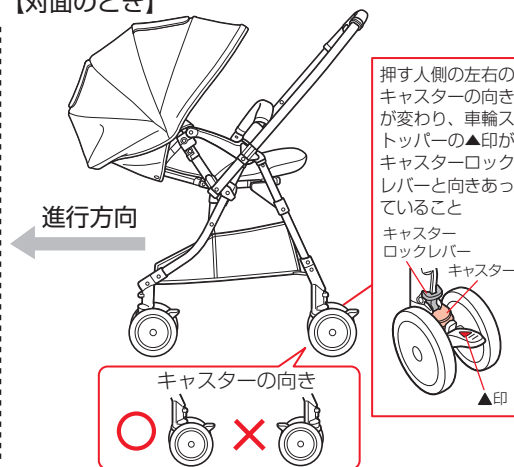
3. 進行方向に少し前進させる。

押す人側の左右のキャスターの向きが変わり、車輪ストッパーの▲印がキャスターロックレバーと向きあっていることを確認する。

【背面のとき】

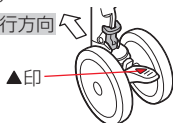


【対面のとき】



ワンポイント

- ハンドルを切り替えた後、次の点を確認してください。
 - ①左右のハンドルロックがロック受けにかかっている。
 - ②ハンドルを上下させても動かない。
 - ③背面に切り替えた後、左右の後脚スライダが下がっている。(9ページの警告欄の図Cをご覧ください。)
 - ④キャスターの向きが正しいときは、進行方向が矢印の向きで、車輪ストッパーの▲印が進行方向を向いています。



注意
 段差を乗り越えにくい場合、対面使用時はステップ、背面使用時は後脚ステーに足をかけて前輪を浮かせ、段差を乗り越えてください。または、対面時に限り、使用者が先に段差に上がるなどの方法で段差を乗り越えてください。

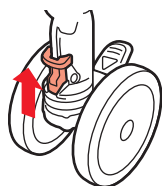
- ベビーカーを後進させる際に、構造上後輪がねじれて進みにくくなることがあります。ねじれたときは前進していただくか、後輪を浮かして後輪のねじれを戻してください。

キャスターロックレバーの使いかた

- 通常使用時やハンドルを切り替えるときは、必ず4カ所のキャスターロックレバーを上げてロックを解除してください。
- 坂道や凹凸のある路面では、一時的に進行方向側のキャスターを左右ともロックすると押しやすくなります。

キャスターを使用する場合

進行方向側のキャスターロックレバーを左右とも上げ、ロックを解除する。



通常はこの状態でご使用ください。
押す人側のキャスターは自動でロックされます。

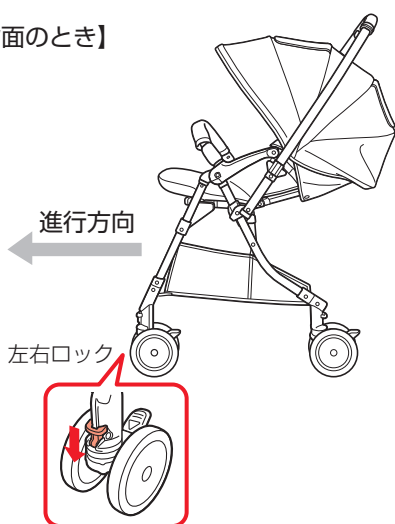
ワンポイント

- ☑ 押す人側のキャスターは自動ロックされますので、手動のキャスターロックレバーは使用できません。

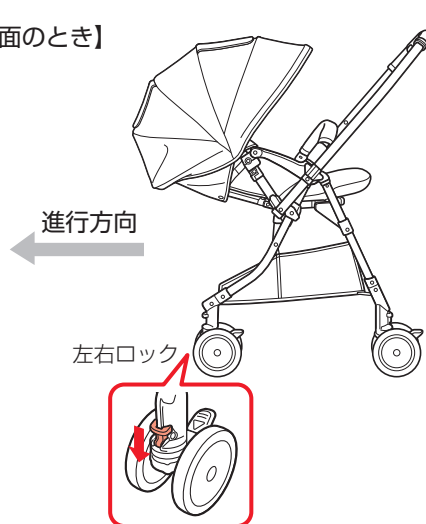
キャスターを使用しない場合

進行方向側のキャスターロックレバーを左右とも下げてロックする。

【背面のとき】



【対面のとき】



車輪ストッパーの使いかた

- ベビーカーを停止させているときには、必ず押す人側の車輪ストッパーのロックを掛けてください。
- 車輪ストッパーとキャスターロックレバーは別の機能です。



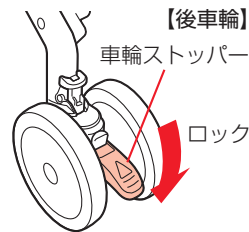
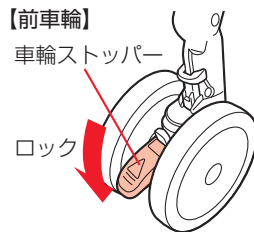
- 車輪ストッパーを過信しないでください。車輪ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。
- お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。また、車輪ストッパーは左右ともかけて使用してください。ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。
- お子さまを乗せるときや降ろすときは必ず車輪ストッパーを左右ともロックし、ベビーカーが動かないことを確認してください。



空車であっても、ベビーカーから離れるときは必ず左右とも車輪ストッパーのロックを掛けてください。車輪ストッパーのロックが不完全な場合、動き出すことがあります。

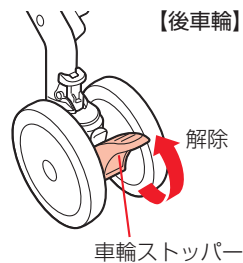
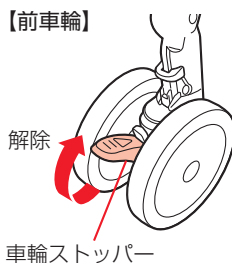
車輪ストッパーをロックするとき

1. 押す人側の車輪の左右の車輪ストッパーを押し下げてロックする。
2. ベビーカーを軽く前後に動かして、車輪ストッパーのロックがかかっていることを確認する。



車輪ストッパーのロックを解除するとき

車輪ストッパーを押し上げる。



フロントガードの使いかた



- フロントガードに関係なく、お子さまを乗せるときには必ずシートベルトを締めてください。フロントガードはお子さまの抜け出しや立ち上がりを防止するものではありません。
- ガードボタンはお子さまには操作させないでください。落下などのおそれがあります。
- フロントガードをつかんでベビーカーを持ち運ばないでください。手がすべったり、フロントガードが抜け落ちる可能性があります。

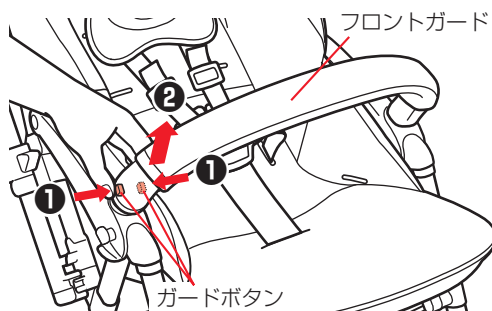


- フロントガードの片側をはずした状態でフロントガードを引っぱって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損やお子さまのケガの原因となります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。また、必要以上に広げたりしないでください。故障や破損の原因となります。
- フロントガードをはずしたまま使用しないでください。ガード用突起などにより、思わぬケガをするおそれがあります。

お子さまの乗せ降ろし時にフロントガードを開くと、よりスムーズに乗せ降ろしができます。

フロントガードを開くとき

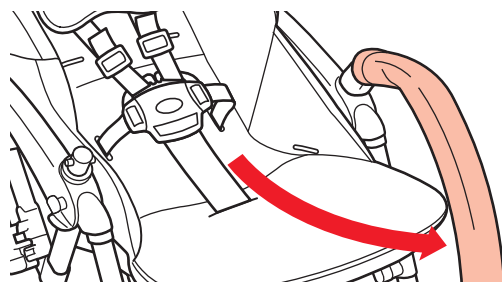
1. 同時に2つのガードボタンを矢印方向に押しながら、
2. フロントガードを上へ引き抜く。



- 2 手を離すと、フロントガードは自然に下がります。



ポイント フロントガードの開閉ができるのは、正面から見て左側だけです。

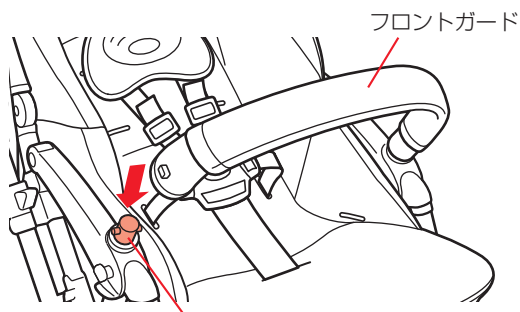


フロントガードを閉じるとき

フロントガードをガード用突起にあわせて上から押し込む。

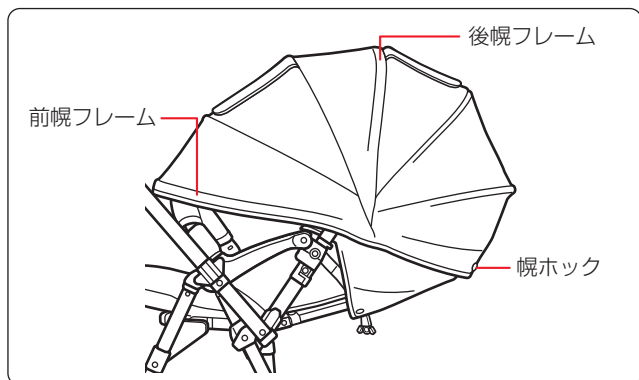


フロントガードを取り付けた後、確実にロックされているか引っぱって確認してください。ロックが不完全ですとお子さまが転落するなど重大な事故につながるおそれがあります。



フロントガード用突起

幌の使いかた



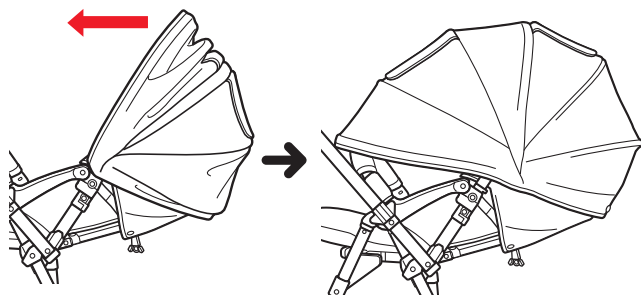
幌を開閉するときは、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手をはさむおそれがあります。

- 幌を取り付けていても、ベビーカーはそのまま折りたたむことができます。折りたたむときは、必ず幌をたたんで後側にまとめてください。
- 幌の取り付けかたについては、23ページをご覧ください。

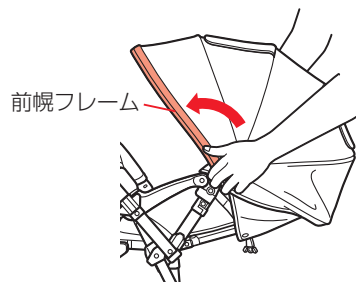
幌のサイズを変える

大きなサイズで使用するとき

両手で幌フレームを持ち幌を前に広げる。

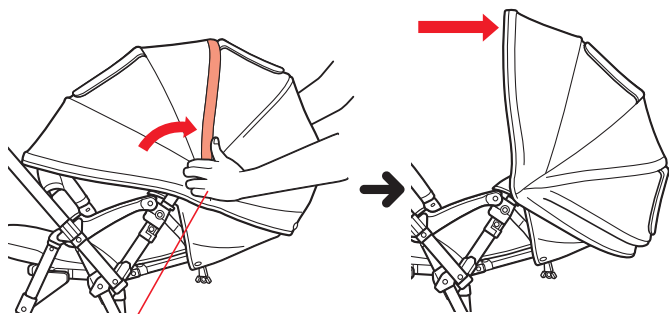


幌を広げるときは、両手で前幌フレームの根元部分を持って『カチッ』と音になるまで広げてください。無理に広げると幌が変形するおそれがあります。



小さなサイズで使用するとき

幌フレームを後側に引いて幌をまとめる。



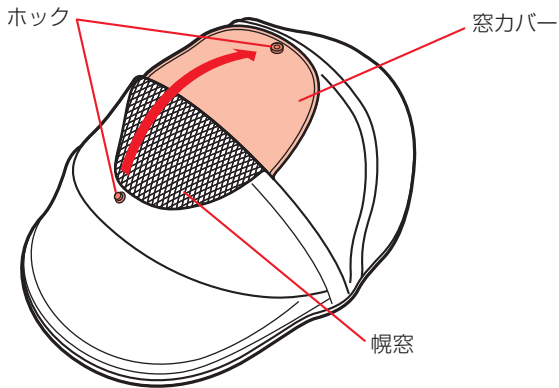
後幌フレームの根元部分を両手で持ち動かします。

窓カバーの使いかた

- 窓カバーを開けると、お子さまの様子を見ることができます。

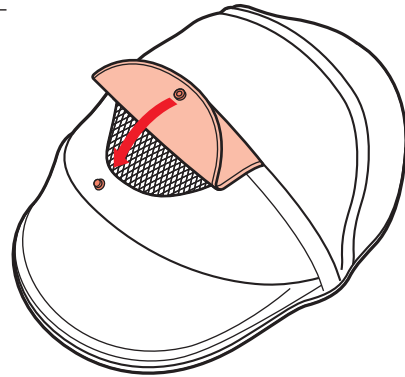
窓カバーを開くとき

窓カバーのホック(1カ所)をはずす。



窓カバーを閉じるとき

窓カバーのホック(1カ所)を幌のホックにとめる。



シートベルト(股ベルト・腰ベルト・肩ベルト)の使いかた



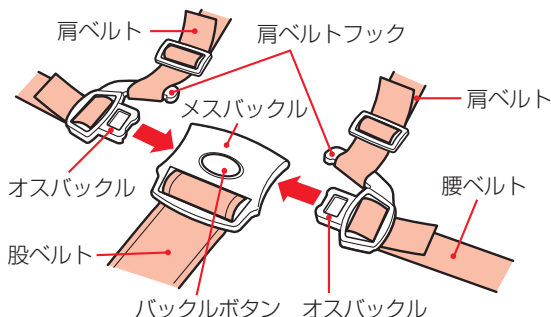
- お子さまを乗せたときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せたり、ベルトの締めかたが不完全な場合、使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。
- シートベルトの長さはお子さまの体にあわせて調節し、抜け出さないようにしっかりと締めてください。シートベルトが長すぎるとお子さまの首に巻き付くおそれがあります。
- 肩ベルトをオスバックルに取り付ける際に、左右のベルトを交差させないでください。お子さまの首を圧迫するおそれがあります。
- お子さまを乗せたまま背もたれを操作しないでください。背もたれの操作後は、シートベルトを適切な長さに調節してください。

シートベルトとは、股ベルトと腰ベルト、肩ベルトの総称です。

シートベルトの締めかた、はずしかた

シートベルトを締めるとき

1. 肩ベルトをオスバックルの肩ベルトフック(左右)に引っかける。
2. 股ベルトを引き出し、メスバックルの左右にオスバックルを差し込み、「カチッ」と音がすることを確認する。
3. 肩ベルト、腰ベルトを引っばって、はずれないことを確認する。

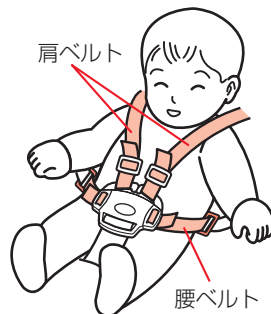


シートベルトをはずすとき

股ベルトのバックルボタンを押す。

お子さまへの装着のしかた

1. お子さまをベビーカーに座らせ、お子さまの肩に左右の肩ベルトを合わせる。
2. 肩ベルトをオスバックルの肩ベルトフック(左右)に引っかけ、メスバックルの左右に腰ベルトのオスバックルを差し込む。



フポイント

- 背もたれを頻繁に倒したり起こしたりする月齢期は、下の肩ベルト通し穴を使用してください。
- 長さ調節時にオスバックルをはずしたときは、「腰ベルトのオスバックルへの取り付けかた」(24 ページ) をご覧になり、確実に取り付けてください。
- 取り付けかたが不完全ですと、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。

シートベルトの調節のしかた

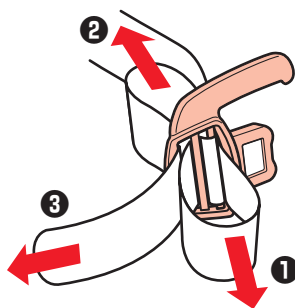
腰ベルトの長さ調節

オスバックル



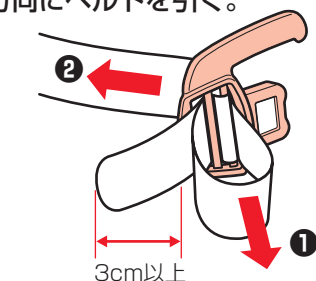
【締めるとき】

オスバックル表側からベルトを矢印①の方向に引きベルトをゆるめる。
 オスバックル裏側から矢印②の方向に引きベルトをゆるめる。
 オスバックル表側からベルトを矢印③の方向に引く。



【ゆるめるとき】

オスバックル表側からベルトを矢印①の方向に引きベルトをゆるめる。
 オスバックル裏側から矢印②の方向にベルトを引く。



ワンポイント

腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。

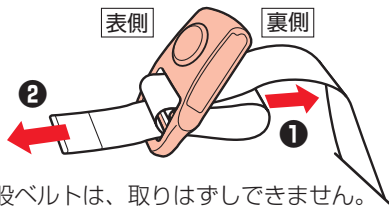


警告
 取り付け後、腰ベルトを強く引っ張り、腰ベルトがオスバックルから抜けないことを確認してから使用してください。

股ベルトの長さ調節

【締めるとき】

メスバックル裏側からベルトを矢印①の方向に引きベルトをゆるめる。
 メスバックル表側から矢印②の方向に引く。

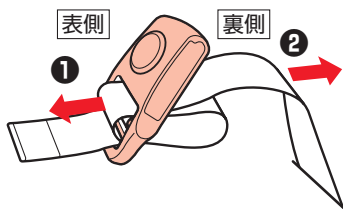


ワンポイント

股ベルトは、取りはずしできません。

【ゆるめるとき】

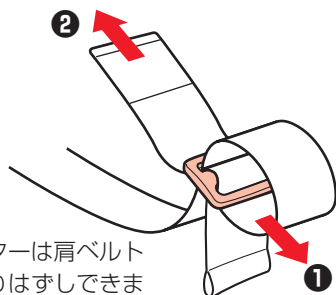
メスバックル表側から上側のベルトを矢印①の方向に引きベルトをゆるめる。
 メスバックル裏側からベルトを矢印②の方向に引く。



肩ベルトの長さ調節

【締めるとき】

ベルトを矢印①の方向に引き出す。
 ベルトを矢印②の方向に引く。

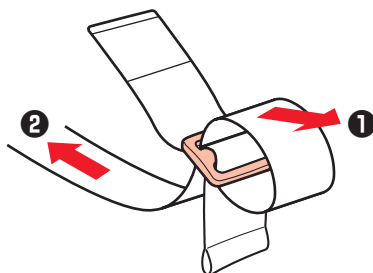


ワンポイント

アジャスターは肩ベルトから、取りはずしできません。

【ゆるめるとき】

ベルトを矢印①の方向に引き出す。
 ベルトを矢印②の方向に引く。



背もたれの使いかた



- 背もたれの操作時は、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- お子さまを乗せたまま背もたれを操作しないでください。
- 背もたれの操作後は、シートベルトを適切な長さに調節してください。
- ベビーカーを押しながら背もたれの操作をしないでください。



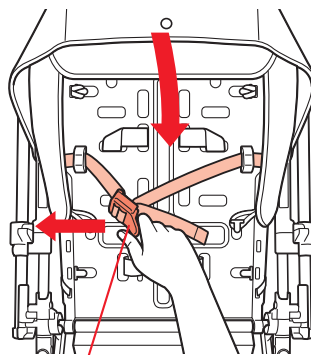
お座りができないお子さまの場合は、最も倒した状態から中間位置まで起こした状態でご使用ください。

背もたれの使いかたの目安

- 1 ヶ月～首がすわるまで.....背もたれは最も倒した状態
- 首がすわってから、ひとりでお座りができるまで.....背もたれは最も倒した状態から中間位置まで起こした状態
- ひとりでお座りができるようになったら.....背もたれは最も倒した状態から最も起こした状態
- 背もたれを最も倒して使うと、シートが狭く感じる
..... お子さまがお座りできる場合に限り、背もたれを中間位置まで起こしてご使用ください。

背もたれの倒しかた

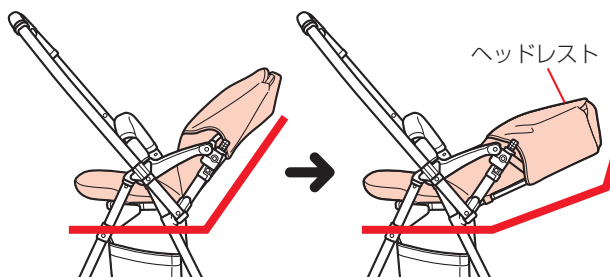
1. リクライニングバックルを起こしながら左に移動させる。



リクライニングバックル

2. 背もたれを倒す。

ヘッドレストが起き上がってきます。
(ムービングヘッドガード機能)



ワンポイント



ひとりでおすわりができるお子さまで頭がヘッドレストに当たる場合は、背もたれを倒したときに無理な姿勢になりますので、ヘッドレストが起き上がらない位置(中間位置)でとめてください。

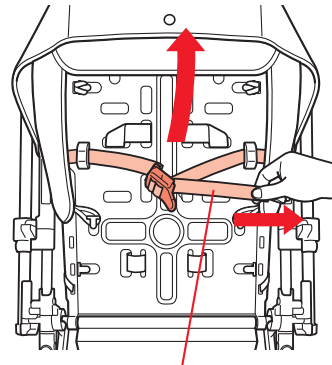


背もたれの起こしかた

背もたれを起こすときは、お子さまの体重が背もたれにかかっていない状態で、リクライニングベルトの先端を引っ張る。

ワンポイント

- お子さまの体重を背もたれにかけたままでは、起こすことができません。
- リクライニングベルトが動きづらいときは、背もたれを起こしてからベルトを引っ張って下さい。



リクライニングベルト

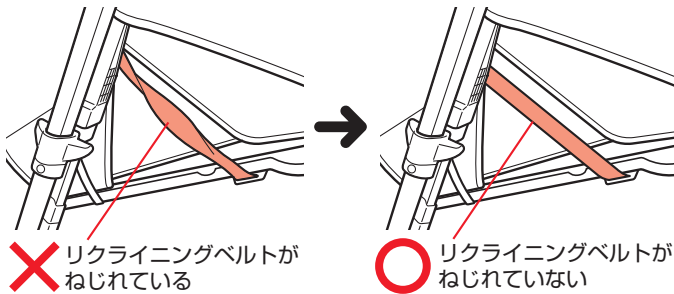
ワンポイント



リクライニング操作がしにくい

リクライニングベルトがねじれている場合があります。ねじれたリクライニングベルトは、以下の手順でなおすことができます。

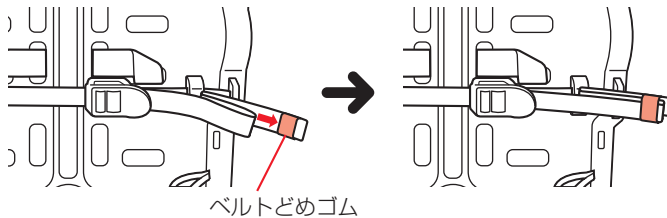
- ① 背もたれを最も倒し、ねじれている部分を確認します
- ② ねじれをとり、リクライニングベルト全体をねじれない状態にします。



ワンポイント



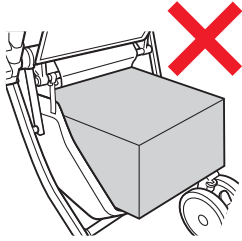
リクライニングベルトがあまった場合は、図のようにベルトどめゴムでまとめることができます。



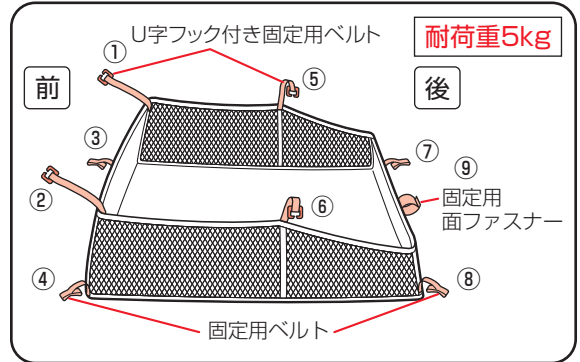
カゴの使いかた

注意

- 耐荷重 (5kg) 以上の荷物はのせないでください。破損の原因となります。
- 角のとがったものや、カゴからはみ出す容積の大きいものは入れないでください。荷物の落下やカゴの変形およびやぶれの原因となります。

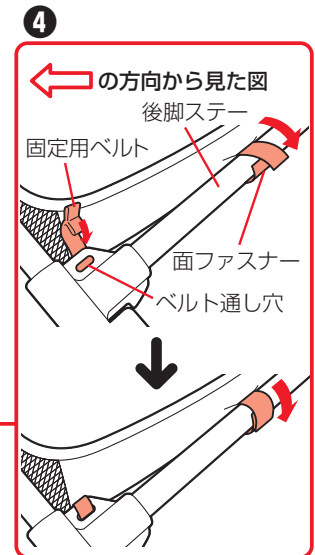
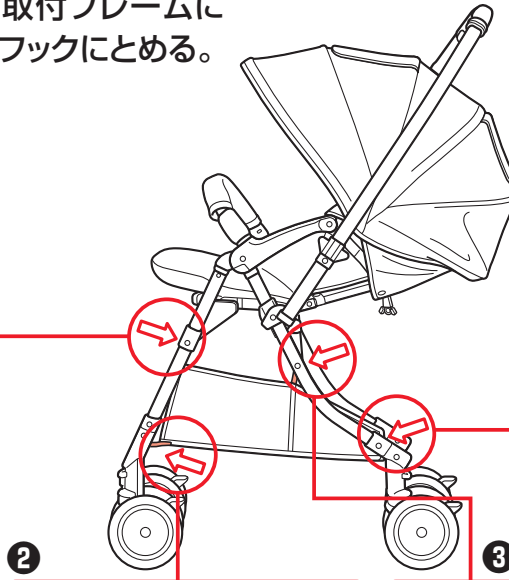
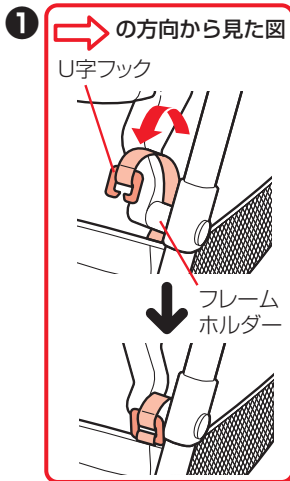


※ 荷物はできるだけカゴ底に均等に荷重が加わるようにのせてください。

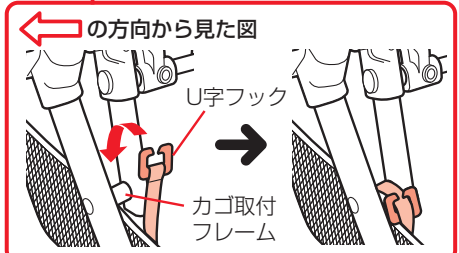
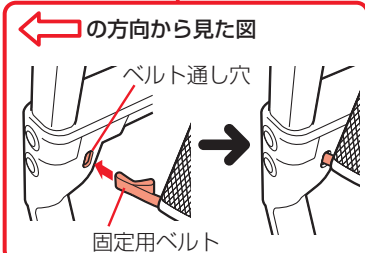


カゴの取り付けかた

1. **①** カゴの前部上にあるU字フック付き固定用ベルト①、②をフレームホルダーに巻きつけて、U字フックにとめる。
② カゴの前部下にある固定用ベルト③、④をステップ下のベルト通し穴に通してとめる。
③ カゴの中間部にあるU字フック付き固定用ベルト⑤、⑥を、車体下部の後ろにあるカゴ取付フレームに巻きつけて、U字フックにとめる。
2. 最後に固定用ベルト、面ファスナーがそれぞれしっかりとまっているか、引っぱって確認する。



手順②の固定用ベルトの向きは、図のようにベルト通し穴に差し込んでください。反対に差し込むと取りはずしにくくなります。



ベビーカーの使いかた

折りたたみかた

- 折りたたむときは、必ず幌を後側にたたんでまとめてください。
- 折りたたむときは、4カ所のキャスターロックレバーをすべて解除してください。



- お子さまを乗せたまま絶対に開閉操作を行わないでください。重大な事故につながるおそれがあります。
- ベビーカーを折りたたむときは、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- スライドボタン、開閉ボタンは折りたたみ操作時以外は動かさないでください。
- 折りたたみ後、スライドボタンがロックされているか確認してください。

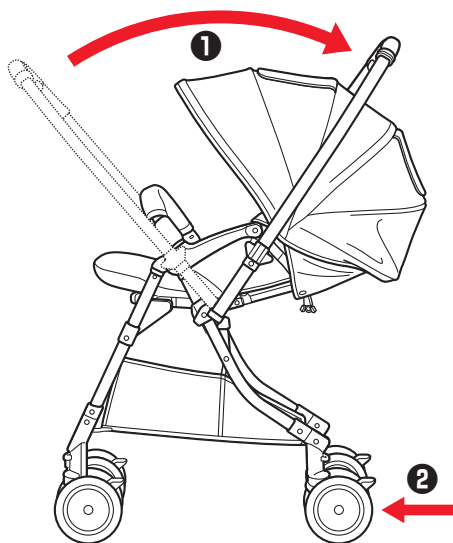


- スライドボタンをスライドさせずに開閉レバーを握らないでください。無理に握ると破損するおそれがあります。
- 何かに引っかかっていたり、はさみ込まれている感じがあった場合には、1度開いて原因を確認してください。無理に折りたたむと破損するおそれがあります。
- 折りたたむときは、カゴに何も入っていないことを確認してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因となります。
- 折りたたむときは、幌がたたまれ、後側にまとめられていることを確認してください。幌の変形や破損の原因になります。
- 車のトランクなどに入れて外出する場合は、幌に負荷がかからないようにしてください。変形や破損の原因になります。
- 折りたたむときは、4カ所のキャスターロックレバーをすべて解除してください。キャスターが誤った向きでロックされていると、ベビーカーが開きづらくなり、無理に開こうとすると破損するおそれがあります。

1

- ① 4カ所のキャスターロックレバーをすべて解除し、ハンドルを背面位置にする。
- ② 進行方向に少し前進させ、押す人側のキャスターを自動ロックさせる。

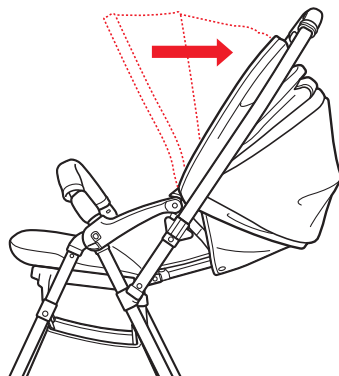
(①、②については、「ハンドルの切り替えかた」10ページをご覧ください。)



2

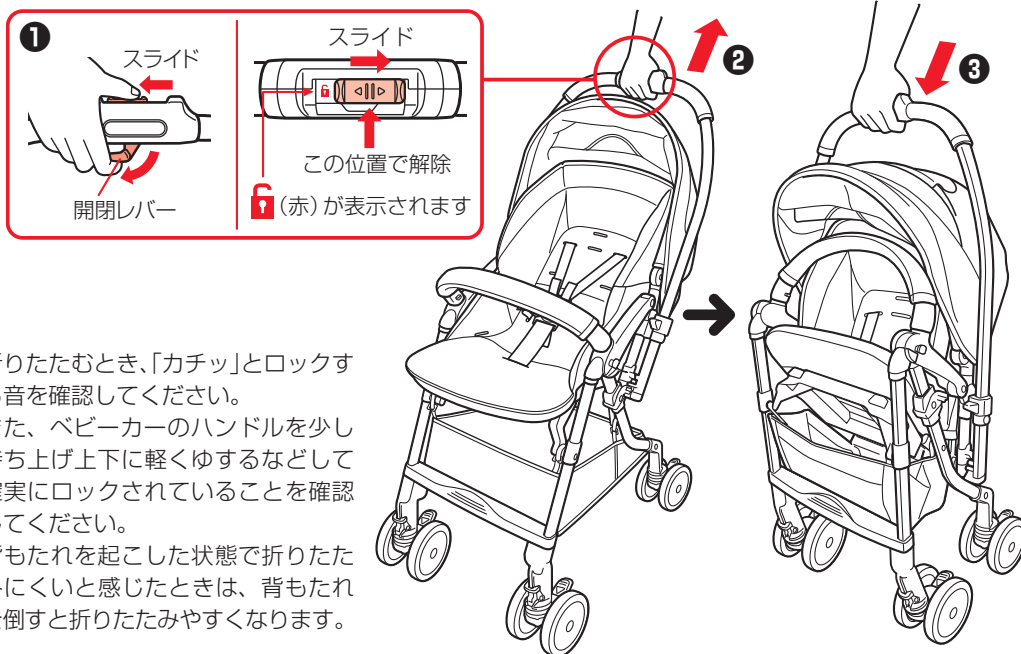
幌をたたんだ状態にする。

幌フレームを後側に引いて幌をまとめます。
(「幌の使いかた」14ページをご覧ください)



- # 3
- ① スライドボタンを矢印方向にスライドさせながら開閉レバーを握り、
 - ② ハンドルを引き上げ、
 - ③ 十分引き上げたら、そのままハンドルを押し下げる。

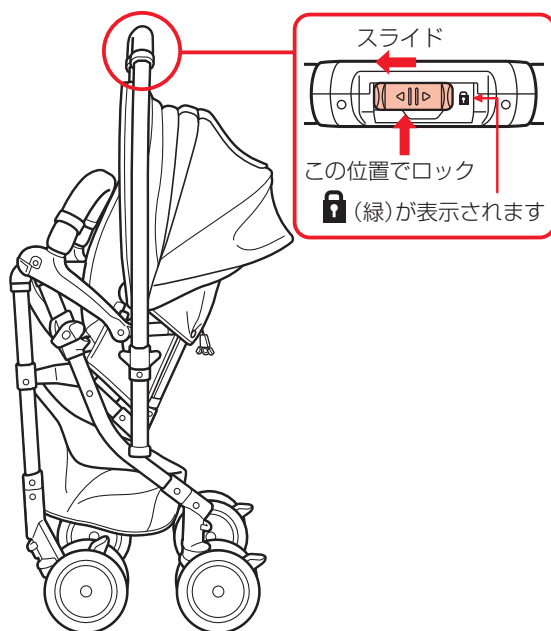
ベビーカーが折りたたまれます。



- 折りたたむとき、「カチッ」とロックする音を確認してください。また、ベビーカーのハンドルを少し持ち上げ上下に軽くゆするなどして確実にロックされていることを確認してください。
- 背もたれを起こした状態で折りたたみにくいと感じたときは、背もたれを倒すと折りたたみやすくなります。

- # 4
- ① スライドボタンから手を離し、折りたたみをロックする。

開閉レバーが自動でロックされます。ロックされていることを必ず確認してください。

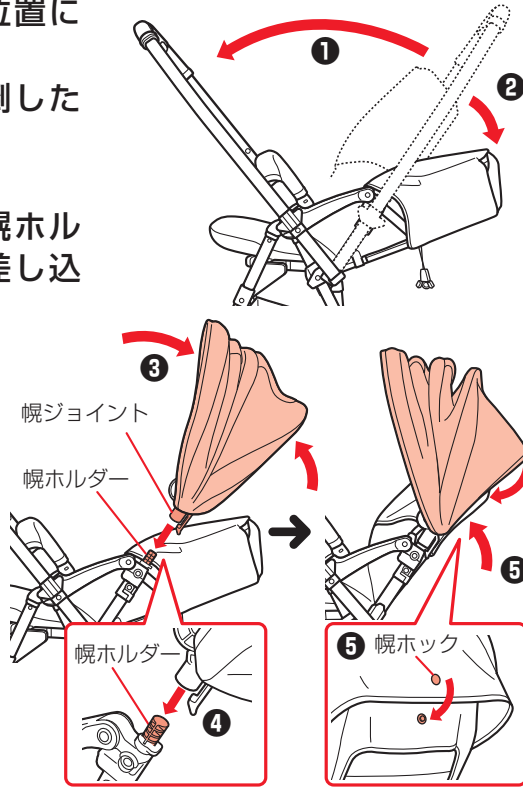


部品の取り付けかた・はずしかた

幌の取り付けかた、はずしかた

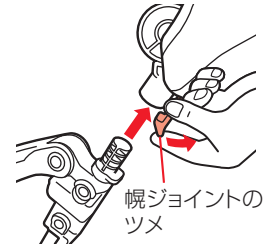
取り付けるとき

- ① ハンドルを対面位置にする。
- ② 背もたれを最も倒した位置にする。
- ③ 幌をたたむ。
- ④ 幌ジョイントを幌ホルダーにしっかり差し込み固定する。
- ⑤ 背もたれを起こし、幌ホック(1カ所)をとめる。



はずすとき

幌ホックを外し、幌ジョイントの下端のツメを指先で手前に引きながら、幌ホルダーから引き抜く。



ガードカバーのはずしかた、取り付けかた

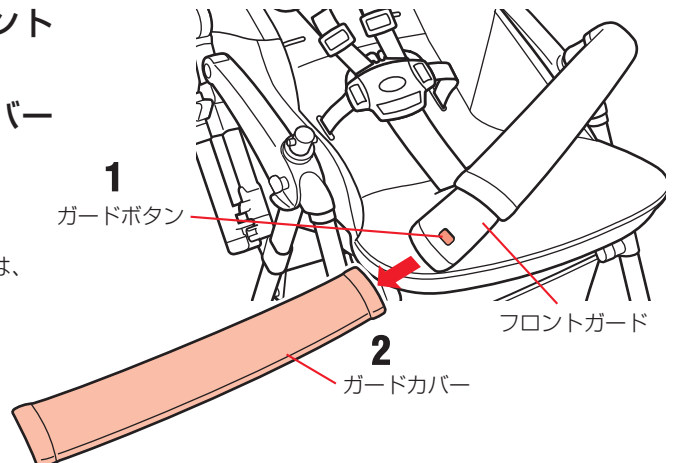
はずしかた

1. ガードボタンを押して、フロントガードをはずす。
2. フロントガードからガードカバーをはずす。

フポイント



お子さまをベビーカーに乗せるときには、ガードカバーをつけてお使いください。



取り付けかた

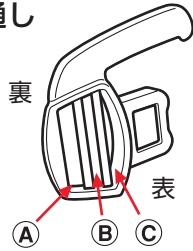
はずしかたの手順を逆に行って取り付けてください。

シートベルトの取り付けかた

腰ベルトのオスバックルへの取り付けかた

※「腰ベルトの着脱シートへの取り付けかた」については、26 ページの手順 1、2 をご覧ください。

オスバックルのベルト通し (A)(B)(C)



取り付け後、腰ベルトを強く引っ張り、腰ベルトがオスバックルから抜けないことを確認してから使用してください。

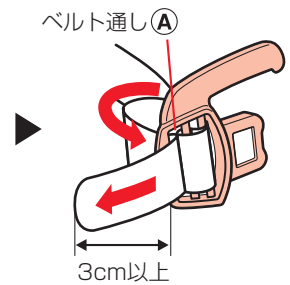
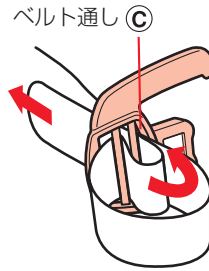
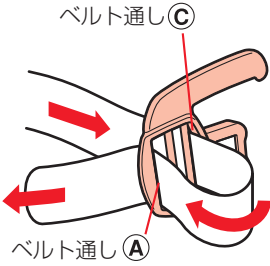
※ 腰ベルトの長さは、ベルトの端が 3cm 以上残るように調節してください。

1. オスバックルのベルト通し③にベルトを通し、ベルト通し①にベルトを通す。

2. ベルト通し②にベルトを通す。

3. ベルト通し③にベルトを通す。

4. ベルト通し①にベルトを通す。(ベルト通し①と③にはベルトが2重に通ります)



部品の取り付けかた・はずしかた

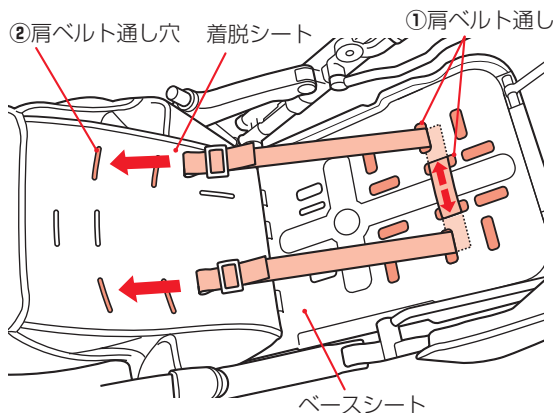
肩ベルトの取り付けかた

- ① 肩ベルトは、ベースシート側の肩ベルト通しに図のように通す。
- ② 着脱シート側の肩ベルト通し穴に通して、取り付ける。

ワンポイント



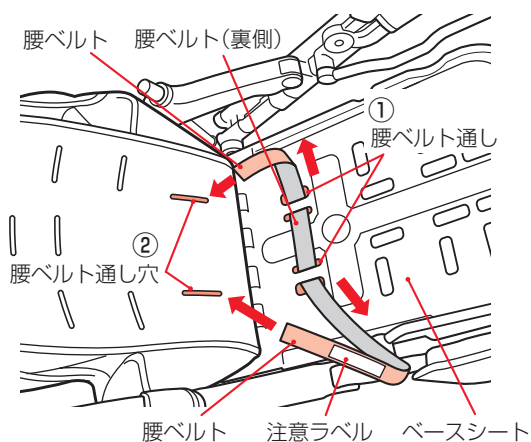
- 着脱シートの肩ベルト通し穴上下位置は、ベースシートと同じ高さのベルト通し穴を通してください。上下を間違えて取り付けると、ベルト長さが足りなくなるおそれがあります。
- 背もたれを頻繁に倒したり起こしたりする月齢期は、下の肩ベルト通し穴を使用してください。



腰ベルトの取り付けかた

- ① 腰ベルトの裏側を上にして、ベースシートの腰ベルト通し(2カ所)にベルトを図のように通す。
- ② 着脱シートの腰ベルト通し穴に通して、取り付ける。

※注意ラベルのある側が表側です。



着脱シートのはずしかた、取り付けかた



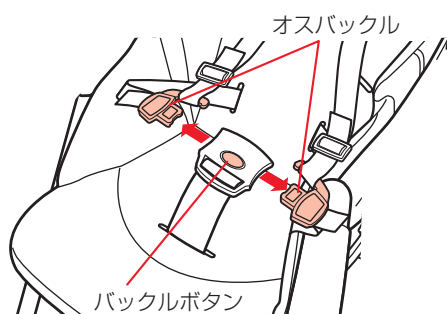
- 着脱シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足をはさむおそれがあります。
- やぶれやほつれの発生した着脱シートはそのまま使用しないでください。中のワタをお子さまが飲み込んだり、着脱シート本来の機能が果たせなくなるおそれがあります。
- 着脱シートを取り付ける際には、ホック類を確実にセットしてください。取り付けが不完全ですとケガややぶれなどの原因となります。

※着脱シートについて

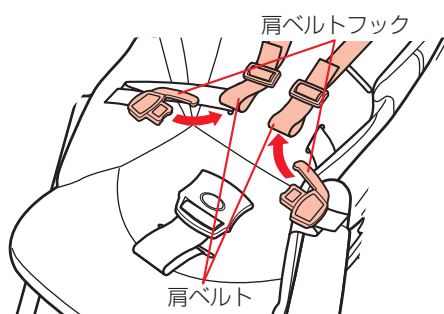
お子さまの服や靴に面ファスナーが付いている場合は、シートに面ファスナーが付着しないように気をつけてください。メッシュ生地に引っかけて傷つけるおそれがあります。

はずしかた

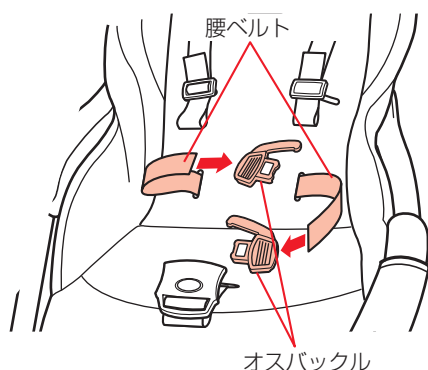
1. バックルボタンを押して、オスバックルをはずす。



2. オスバックルの肩ベルトフック（左右）から、肩ベルトをはずす。

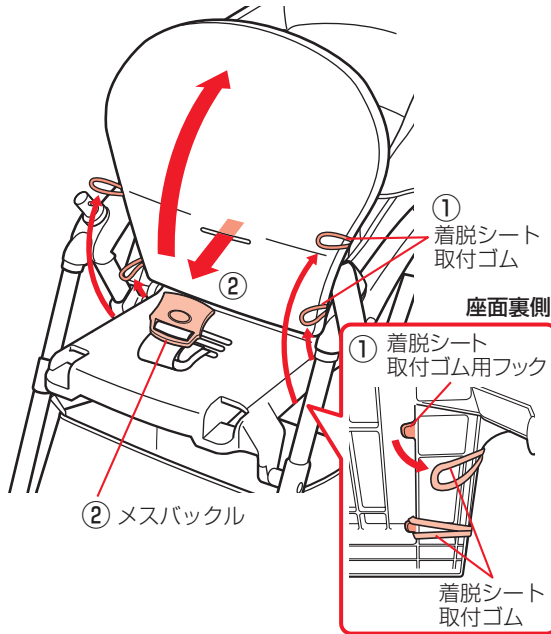


3. 腰ベルトからオスバックルをはずす。

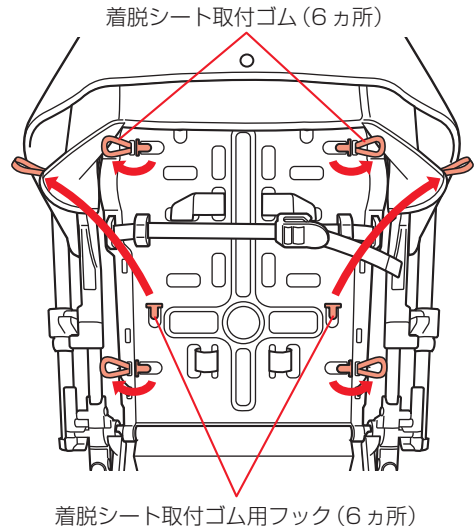


部品の取り付けかた・はずしかた

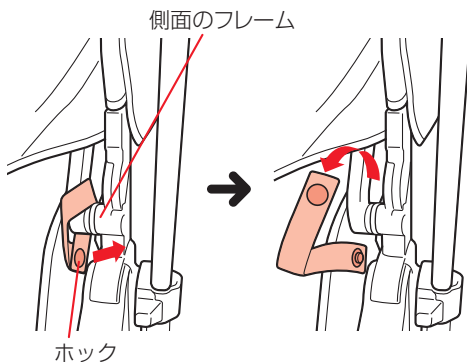
4. ①ベースシートの座面裏側の着脱シート取付ゴム用フックから着脱シート取付ゴム(4カ所)をはずし、
②着脱シートからメスバックルを引き抜く。



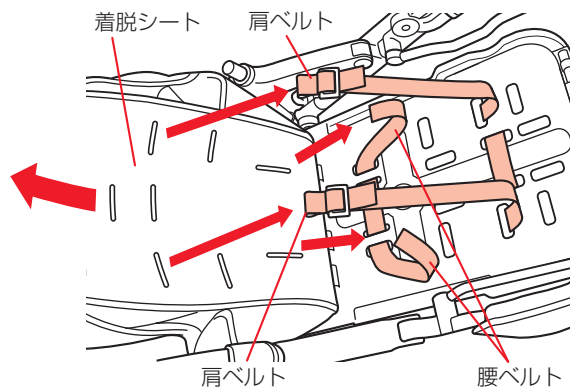
5. 着脱シート両側の着脱シート取付ゴム(6カ所)をベースシートの着脱シート取付ゴム用フックからはずす。



6. 側面のフレームにとめてあるベルトのフック(左右)をはずす。

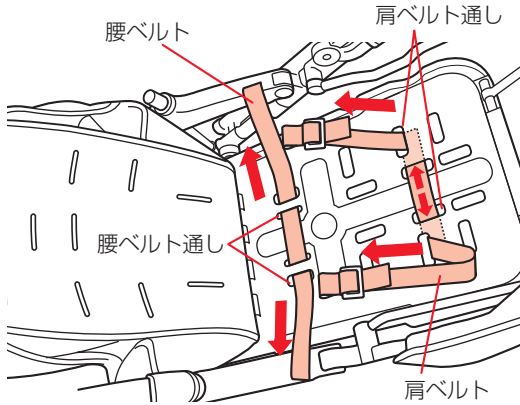


7. 腰ベルトと肩ベルトを引き抜き、着脱シートをベースシートからはずす。



取り付けかた

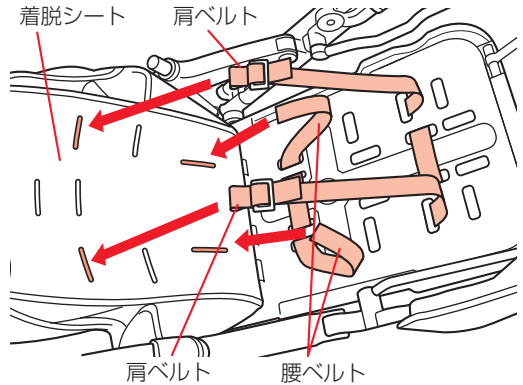
1. ベースシートの腰ベルト通しに腰ベルトを、肩ベルト通しに肩ベルトを通す。



ワンポイント

「肩ベルトの取り付けかた」「腰ベルトの取り付けかた」について、詳しくは25 ページをご覧ください。

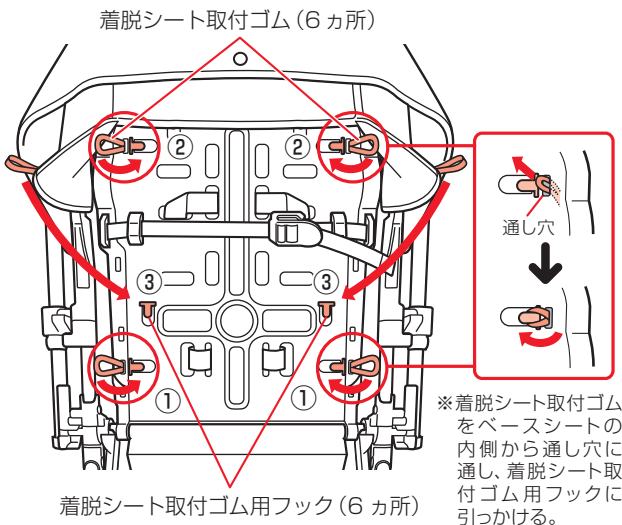
2. 着脱シートのベルト通し穴に腰ベルトと肩ベルトを通し、着脱シートの表側にベルトの先端を引き出す。



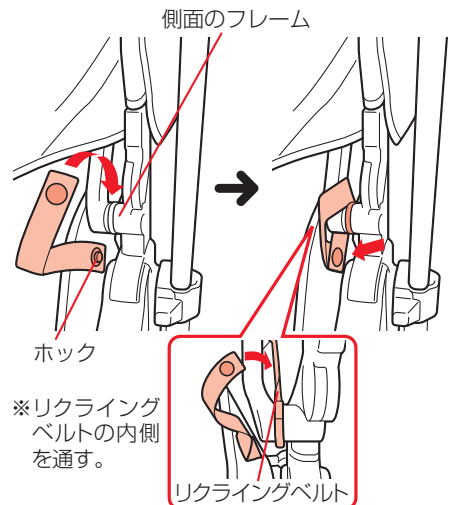
ワンポイント

- 着脱シートの肩ベルト通し穴上下位置は、ベースシートと同じ高さの通し穴を通してください。上下を間違えて取り付けたと、ベルト長さが足りなくなるおそれがあります。
- 背もたれを頻繁に倒したり起こしたりする月齢期は、下の肩ベルト通し穴を使用してください。

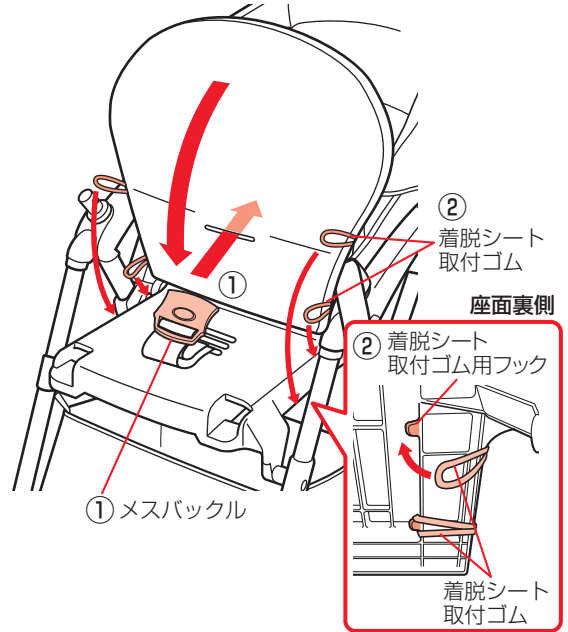
3. 着脱シート両側の着脱シート取付ゴム(6カ所)をベースシートの着脱シート取付ゴム用フックに①→②→③の順に引っかける。



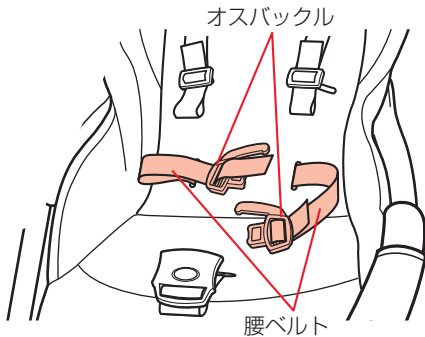
4. 側面のフレームにベルトを巻きつけ、ホック(左右)をとめる。



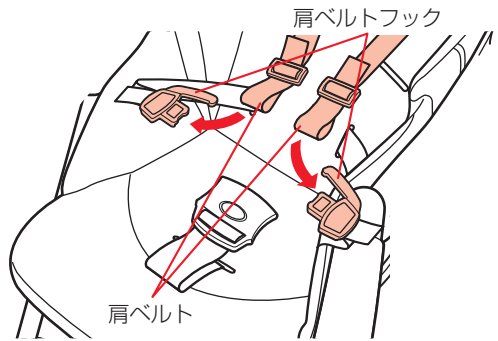
5. ①メスバックルを着脱シートを表側に引き出し、②着脱シート座面両側の着脱シート取付ゴム（4カ所）をベースシート座面裏側の着脱シート取付ゴム用フックに引っかける。



6. 左右のオスバックルを腰ベルトに取り付ける。

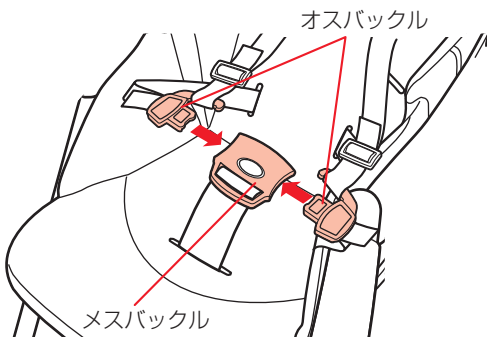


7. 肩ベルトをオスバックルの肩ベルトフック(左右)にひっかける。



ワンポイント 「腰ベルトのオスバックルへの取り付けかた」について、詳しくは24ページをご覧ください。

8. オスバックルをメスバックルに差し込む。

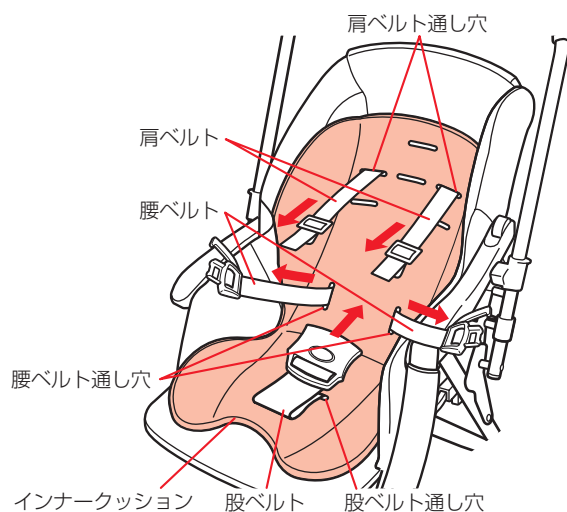


インナークッションの取り付けかた

●インナークッションの使用時期の目安は、1 ヶ月～36 ヶ月です。

インナークッションの通し穴に肩ベルト、腰ベルト、股ベルトを通し、インナークッションの表側にベルトを引き出し取り付ける。

ワンポイント インナークッションの肩ベルト通し穴の高さは、着脱シートの肩ベルト通し穴の高さと合わせてください。



ヘッドサポートの使いかた

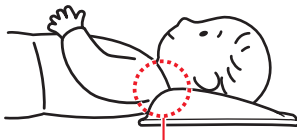


- 背もたれを起こした状態で使用する際、お子さまの頭がヘッドレストの位置にくる場合は、ヘッドサポートを使用しないでください。
- やぶれやほつれの発生したヘッドサポートはそのまま使用しないでください。中のクッション材をお子さまが飲み込んだり、ヘッドサポート本来の機能がはたせなくなるおそれがあります。

- ヘッドサポートは、お子さまの体格にあわせた取付位置でお使いください。
- 使用時期の目安は、1カ月～7カ月ごろです。

ヘッドサポートの取り付け位置の目安

ヘッドサポートは、お子さまの首のあたりにクッションの凸部がくるように取り付けてください。



首にくるように取り付け

ヘッドサポートの取り付けかた

ヘッドサポートを着脱シートに取り付ける。

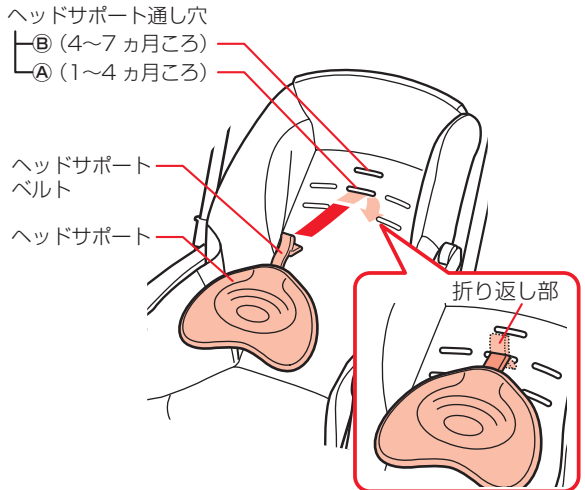
ヘッドサポートベルトを、ヘッドサポート通し穴に通し、ベルト先端の折り返し部を通し穴に引っかけて取り付ける。

取り付け後、着脱シートにとまっているか、軽く引っばって確認する。

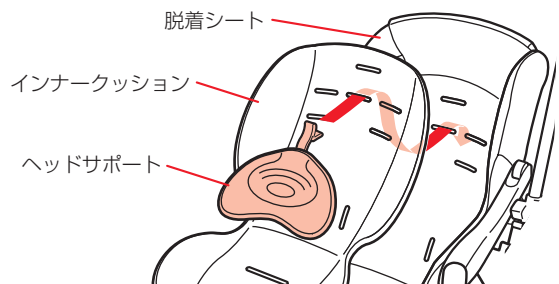
ヘッドサポート通し穴①②の目安について

- ① は1カ月から4カ月ごろまでの月齢のお子さま
- ② は4カ月から7カ月ごろまでの月齢のお子さまに使用してください。

※月齢は目安です。お子さまの発育に合わせてご使用ください。



インナークッションを使用する場合は、インナークッションと着脱シートのヘッドサポート通し穴の両方にヘッドサポートベルトを通してください。



日常のお手入れ

縫製品の洗濯について



- 幌のプラスチック部分やカゴのU字フック、シート固定フックなどでケガをしないように注意してください。
- 製品の特性上、若干色あせすることがあります。
- 製品の特性上、若干色落ちすることがあります。他の洗濯物とは別に洗ってください。また、つけ置き洗いも避けてください。
- 洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。蛍光剤・漂白剤入りの洗剤は肌荒れ、湿疹などのおそれがありますので使用しないでください。
- 保管状態により、カビが発生することがあります。こまめに洗濯をし、清潔に保つように心がけてください。
- 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。

●着脱シート、肩ベルト、腰ベルト、ガードカバー、ヘッドサポート、インナークッションの洗濯

- 水、またはぬるま湯で洗濯機の弱水流または手洗いしてください。
- 洗濯機をご使用のときは、洗濯用ネットに入れてください。ほつれや傷みの原因となります。
- きついもみ洗いはしないでください。
- 十分にすすぎ、軽く脱水した後、形を整えて陰干ししてください。

●幌、カゴ、ガードの洗濯

- 幌やカゴは液中につけず、水、またはぬるま湯の洗剤をつけたブラシやスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
- 洗剤を使用して汚れを取った後は、水を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分を拭き取り、陰干ししてください。

車体の清掃について



車体の清掃は水ぶき以外は使用しないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

- 車輪やプラスチック部品および金属部品の汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。

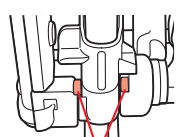
注油について



お子さまがなめる可能性の高いフロントガードやアームレストなどには油が付着しないようご注意ください。

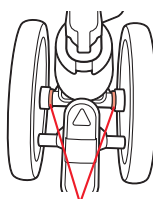
- きしみが発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油（シリコーン系）を少量、注油してください。注油するときは、注油部分の泥や汚れをあらかじめふき取ってください。また、注油量が多すぎると、ほこりが付きやすく、かえって機能を低下させます。

ハンドル回転軸部

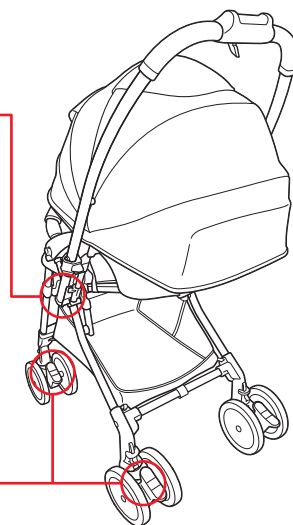


注油可能箇所
※ハンドル右側も同様

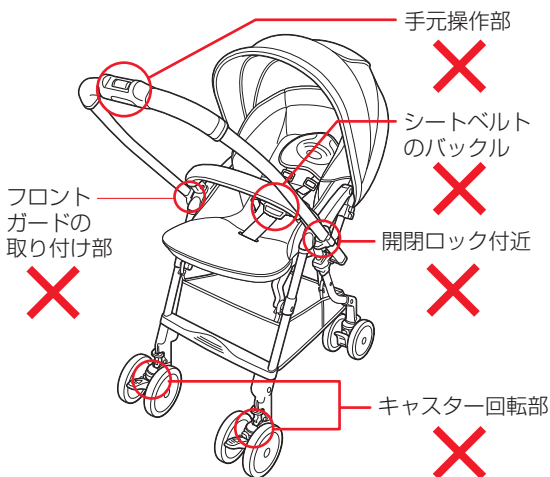
車輪回転軸部



注油可能箇所
※右側車輪も同様



- 下に示す部分には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。



その他

保管のしかた

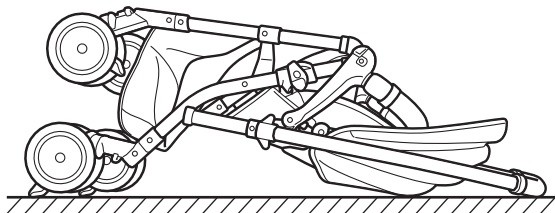


保管の際には、幌の変形を防ぐため、横向きに寝かせたり、上に荷物を重ねたりしないでください。また、高温になる場所での保管もおやめください。



火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管は避けてください。また荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

- 直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に立てて保管してください。屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。
- 車のトランクなどにいれて運ぶ場合は、後輪左右のストッパーをロックして、背もたれ部を下にして寝かせてください。



廃棄方法について

- お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。

ベビーカーの「標準使用期間」について

本製品の「標準使用期間」は、新規購入から使用対象月齢期間までの3年間です。

購入後3年間を経過した製品については、不測の事態に備えて使用を中止してください。

- 標準使用期間を超えてのご使用は、材料の経年劣化により、徐々に強度の低下や各部のガタツキが大きくなることで、本来の性能を果たせず危険を招くおそれがあります。
- 2人目のお子さま、他人への譲渡等によるご使用は、標準使用期間を超える場合がありますのでご注意ください。また、使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。
- 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管状態により故障する場合があります、この期間の品質を保証するものではありません。保証書に記載している保証期間を過ぎた場合は有償修理となります。

この商品の品質で、お気づきの点がございましたらお手数ですが下記までご連絡ください。

販売元

株式会社 西松屋チェーン

〒671-0218 兵庫県姫路市飾東町庄266-1

【お客様相談窓口】

フリーダイヤル 0120-7-24028

受付時間 10:00～18:00

(土・日・祝日・弊社所定休日を除く)

MADE IN CHINA